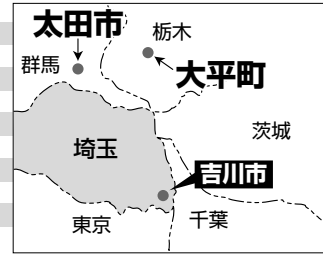


総務水道・文教福祉



常任委員会合同行政視察

水道事業包括業務委託

群馬県太田市

吉川市では、平成19年度より、老人福祉センター並びに第3保育所の業務において指定管理者制度を導入し、民間による運営がされております。そこでは、わずかながらも、経費の削減が図られ、運営面でも大きな支障はなく、保育所では、保護者の方より喜びの声もいただいているところ

です。そのような状況の中で、さらに全事業を念頭におきながら、委託出来るものはないかと、議会内でも活発に議論されているところです。



太田市で実施されている委託内容は、包括業務委託という方法で、

①浄水場運転維持管理（取水から蛇口まで）の委託【H14年から】

②水道料金の検針から徴収委託【H11・13年から】

③漏水修繕待機やメーター取替業務等の委託

④給水装置工事関係業務で、設計審査やしゅん工検査、手数料徴収事務等の委託

⑤経理事務補助として、予算や決算事務補助、伝票発行事務等。

これらの①～⑤を一つにまとめて業務委託する方法を取り入れたということでした。

これを事業者に提案し、各事業者の提案書を評価し、最もすぐれた提出者と5年間の随意契約をしたということでした。この際、説明会には100社程度の参加がありましたが、実際には2グループの提案でその中から決定したということでした。提案者が少な

いのは、今まで例のない契約内容と、また、1社単独で請け負うことができない業務内容のため、グループ（数社）にならざるを得ないことによるものです。選定されたグループは互いに出資しあい、新規の会社を設立し、1社として運営に当たっているとのこと

◆その効果は！◆

I 職員数の削減を図る

H5年がピークで78名の職員が居たが、委託数を増加することにより、昨年度は34名に。今年度は29名に。

II 年間1億4千万円

5年契約の包括業務により、約7億円の経済効果を生じる予定。

との説明がありました。

業務を委託すれば当然の如く、そこに係わる業務が他に委ねられるわけですから、職員数は減り、人件費も軽減されます。ただし、その反面、新規採用数が制限され、新しい風が吹きにくくなるなどの話もありました。

また、委託先はそれに耐える企業ということが前提で



あることはいうまでもなく、さらに、市内に新会社を設立していただいたことにより、経済効果が見込まれるという話もありました。

◆視察を終えて◆

財政厳しい折り、民間委託や指定管理者等、様々な手法の元にコスト削減を図ろうとしている自治体が多い中で、ただ単にコスト削減ということではなく、税の流れが市内の中で波及していく発想に好感を持ちました。また、新しい発想をどう生じていくか、その手法も問われていると再認識させられました。

当市の実情をよく見極めながら、議会内でも活発に議論を進めていきたいと思えます。